

カリフォルニアの風（4月号）

「なかま」

入学・始業式の日、気持ちの良い「カリフォルニアの風」が吹き、時折、桜の花びらが舞っていました。

令和5年度、サンフランシスコ日本語補習校は1300人を超える「なかま」を迎えました。

「なかま」一人ひとり、進級や進学を機に、「がんばりたい」と心に秘めていることがあります。その思いを大切に支援をしたいと思います。一年間、よろしくお願いいたします。

さて、「カリフォルニアの風」に寄稿をし始めて、2年目になりました。

今年も、現場に出向いて、子どもたちや先生方、保護者の皆様を見て感じたこと、それぞれからお話を聞いて考えたこと、校内の空気の流れに触れて気付いたことなどから、今、何を大事にしていくとよいかを、「カリフォルニアの風」の中でお伝えしたいと思います。改めまして、よろしくお願いいたします。

昨年度末、「この4月に中学部へ進学するにあたり、春休みはどのように日本語の勉強をすると読み書きの力が付くのでしょうか。」という相談を受けました。「オンラインの期間はあまり勉強に身が入っていなかった。そのため授業に付いていくことができないでいる。」というのが主な理由でした。そこで、「春休み中、月曜日から土曜日までの毎日、読み書きそれぞれ15分間は勉強することになりますが、やってみますか。」「お家の人に協力をお願いすることになりますが、お母さん、いかがでしょうか。」と声を掛け、次の三つのアドバイスをしました。

・「読み」は、2学年下の小4「道徳」の教科書を開きます。パラパラめくって眺めて興味を持ったところを丁寧に読んでみましょう。道徳の教科書はふりがなが付いていますので、つまるところはないと思います。何度か読んで、お母さんに読んでいる様子を聞いてもらいましょう。読んで感じたことなどを、お母さんに聞いてもらうこともいいですね。

・「書く」は、これも2学年下の「漢字テスト・4年生」をインターネットなどで検索して印刷し手元に用意してください。読みに合う漢字を丁寧に書いていきます。書けないときは国語辞典を引きます。その時、書き順を確かめ、その漢字の意味をメモしておくといいですよ。辞典を引く必要なく書くことができた漢字も、一度辞典で書き順と意味を確かめてください。時間がかかる漢字練習ですが、慣れてくれば同じ15分間でも始めた頃より取り組む漢字の数が多くなります。こつこつ、地道にやりましょう。

・「点検メモ」と「一言感想」を記入する用紙（点検表）を用意しましたので見てください。「点検」は、今日の出来はどうだったかな、と振り返って、「◇よくできた、○できた、△あまりできなかった、▽まったくできなかった」のいずれかの記号を塗りつぶすようにしてください。お家

の人の記入欄も作ってあります。その欄は、お母さんが塗りつぶしてください。あなたもお母さんも、◇が塗りつぶされるといいですね。「一言感想」は、一文でいいです、たとえば、「今日は漢字がていねいに書けた。毎日ていねいに書くことを心がけます。」という感じかな。書く癖をつけるためのものです。素直に書きましょう。

入学式の日になりました。

三つのアドバイスを授けた「なかま」が、中学1年生として登校してきました。

早速学級担任の先生に、「漢字プリント」と「点検表」を提出。さて、その中身は??

漢字は丁寧に枠の中に書き、その意味は紙の余白にきちんと書かれていました。

「**覚**（める）：眠りから起きる」というように。

5週間分の「点検表」は、月曜日、●がありましたが、火曜日から土曜日までは◆に塗りつぶしてありました。そばによると、「進学して学校が楽しい。宿題はちゃんとやっています」という返答。「春休み、がんばったね」と言葉を掛け、さらに「毎日続けることが大切。せっかく習慣づいたのだから。読む癖、書く癖、日本語に親しむ癖をつけようね」と、続きの言葉を掛けました。

私たちは、本校のすべての「なかま」に、「やりきった」とか「できた」、「わかった」、「こうすればいいんだ」などというような体験をできる限り多く味わわせたい。そのような体験がはずみになって、日本語や漢字に好奇心を持ち、いろいろ調べるようになっていくと思うからです。好奇心を持って調べている時、「学ぶことが楽しい」と感じているのではないのでしょうか。